

# Q. 消防団員の確保は



おかじま つよし  
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

# A. 充実・強化に務める



**Q** 消防団員の高齢化や消防団員数の減少が、全国的な問題となっている。現在、豊山町では消防団員が定足数を満たしているが、今後、消防団員の不足や高齢化が懸念される。

豊山町消防団には5名の女性消防団員があり、そのうち1名は県操法大会出場メンバーとして練習に励んでおり、大変頼もしく感じている。

女性消防団員の登用が必要だと思いが、どう考えているのか。今後の消防団員の確保、消防団の役割や活動についてどのように考えるのか。

**A** 企画調整部長

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害などの大規模災害時の救出活動や避難誘導など、本町の防災活動における重要な役割を担って

いる。団員の確保は、町民の安心・安全を守るために必要不可欠と考える。

女性消防団員の登用は、団員確保の観点から、また、女性の視点による救助やケアなどの活動の観点からも、大変効果が高いものと認識している。

一般団員も含めて、広く女性消防団員の参画を呼び掛けるとともに、引き続き、若者に対して入団促進のPR活動を行うほか、新たに民間事業所への協力要請などを開始し、消防団の充実・強化に努める。



県操法大会出場に向けて猛練習

**A** 企画調整部長

令和5年2月からデジタルの専門的な知見を持つ外部人材として、総務省のICT地域マネージャーを務められる方に、本町のICT監理アドバイザーを依頼した。令和



これらの目的を実現していくためには、デジタルに関する専門知識を持った人材が欠かせない。

本町のように小規模な自治体には、デジタルに関する専門知識を持った職員は少ないと思うが、どのような対応を考えているのか。

5年度からは、DX推進のためのシステム調達や情報システム標準化に関する技術的な助言、支援をいただく予定としている。

人材の育成については、職員全体のデジタルリテラシーの向上を図るため、令和4年10月にDX推進研修と情報セキュリティ研修を行った。

今後は、人事担当と連携を図りながら、職員のデジタル技術への理解とそれを活用できるスキル向上に向けた取り組みを進めていく。

# A.Q. デジタル人材の確保は 人事担当と連携し取り組む

**Q** 令和5年2月に豊山町DX推進計画が示された。この計画では、少子高齢化への対応や行政コスト削減に向け、行政手続きのオンライン化、業務の省力化・効率化などを目的としている。